

## '12キッチンにおける『油』の存在 ～家族形態別の比較～

### 調査背景

近年、少子高齢化の進展や未婚率の上昇などに伴い、標準世帯といわれる“夫婦と子”から成る世帯が減少する一方、“夫婦のみ”や“一人暮らし”世帯が増加しており、2010年では“一人暮らし”が“夫婦と子”世帯より多くなっています（図1）。さらに、平均世帯人数も年々減少しており、2010年には2.4人ですが、2030年には2.2人となり、さらに“一人暮らし”世帯は4割程度になると見込まれています。また、共働き世帯の増加（図2）や、中食市場の拡大などによって、調理の時短や簡便化傾向も強まっており、家庭における食スタイルは、今後さらに変化していくと予測されます。

そこで今回は、食用油の購入、食用油を使った調理、揚げ物惣菜などに関する調査を家族形態別に実施し、“一人暮らし”、“夫婦のみ”、“夫婦と子”世帯で比較しました。

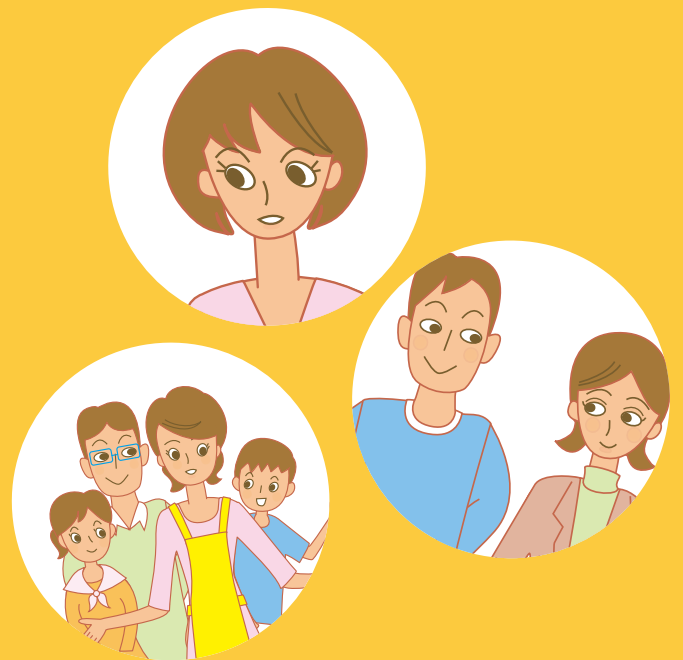
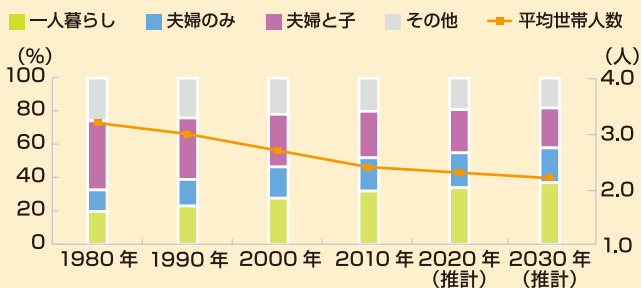
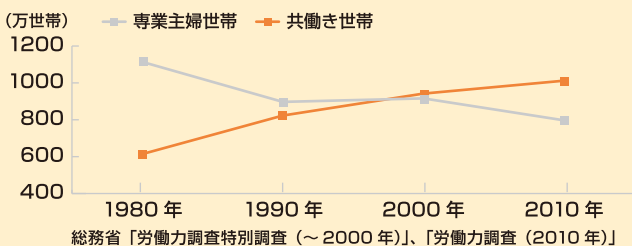


図1 家族形態別世帯数の割合及び平均世帯人数の変化



国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」、厚生労働省「国勢調査」より改編

図2 専業主婦世帯および共働き世帯数の推移



総務省「労働力調査特別調査（～2000年）」、「労働力調査（2010年）」

※専業主婦世帯：男性雇用者と無業の妻からなる世帯  
共働き世帯：夫婦ともに非農林業雇用者の世帯

### 目次

調査背景・調査概要	1
食用油の購入	2～3
調理スタイル	4～6
揚げ物惣菜の購入	7
家族形態による違い／考察	8

### 調査概要

調査方法 インターネット  
調査実施日 2012年11月9日～12日  
調査地域 全国  
調査対象 20～69歳の女性1151人  
サンプル数(人)

	Total	20代	30代	40代	50代	60代
一人暮らし	380	75	69	73	83	80
夫婦のみ	377	79	75	75	71	77
夫婦と子	394	72	84	78	76	84